

# 令和4年度 市民と議員の懇談会 意見等一覧

会場	意見区分	通しNo.	意見内容
一関	1.協働体の成果と課題	1	・協働体ができて住民の意識が変わった。
		2	・人まかせではなく、自分で何ができるかを考えるようになった。
		3	・3部門毎に計画的な取り組みを実施している。
		4	・高専と一緒に事業（ロボコン）を実施した。
		5	・台風被害の看板を作成した。
	2.協働体だけでは解決が難しいと考える課題	6	・予算の使い道、期間が限られている。
		7	・アパートなど短期的な住民の関わりが少ない。
		8	・若い世代、女性の関わりが少ない。
		9	・役員の担い手がない。
		10	・一人で複数の役職を担当している。
		11	・行事に男性の参加者が少ない。
		12	・協働体の活動がまだまだ知られていない。
	3.議員、議会に求めること	13	・前回2回否決したNECの取得について、説明責任、情報提供が必要である。
		14	・駅東西通路は、生活、仕事、交流のため必要である。
		15	・空家問題、商店街の活性化が必要である。
		16	・一般質問など議員の質の向上を図ってほしい。
		17	・市民の声を行政に届けてほしい。
		18	・人口減少、若い人の雇用場を確保して頂きたい。
中里	1.協働体の成果と課題	19	・地域の自主的な活動が行われてきている
		20	・3つのプロジェクトの活動により、地域がまとまってきている
		21	・防災マップづくりの取り組みにより、防災に対する意識が高まってきている
		22	・協働体職員が一生懸命仕事に従事しており、資質が向上し、その取り組みを応援していく地域の雰囲気もある
		23	・地域づくり協議会の活動により、地域協働の意識が醸成されてきている
		24	・市民センターの活動が、高齢者が日常生活を楽しみきっかけになっている
		25	・協働体事務局職員に依存した活動
		26	・協働体を担う担い手の育成
		27	・活動に参加する方の高齢化と固定化→やり方に工夫が必要
		28	・行政区長の横の連携が必要
		29	・PTAの参画が難しくなっている
		30	・地域協働の認識を役員、会員が再認識する必要がある
		31	・地域協働体の持続性に不安を感じる
		32	・世代間交流事業がやりづらくなってきている
	33	・未来プロジェクトに参画する団体長の交代により、活動の持続性が低下	
	34	・地域課題を話し合う場がない	
	2.協働体だけでは解決が難しいと考える課題	35	・PTAの活動の停滞
		36	・野生動物（猪）の出没により被害があり、その駆除が必要
		37	・中学校跡地の維持管理、活用
		38	・地域環境（道路や空き地等）の草刈りが行き届いておらず、その取組主体も不明瞭
		39	・人口増加地域におけるごみステーション新設の困難化→行政の柔軟な対応が必要
		40	・災害復興住宅の空き屋化による環境悪化
		41	・農業衰退による、住環境の悪化（外来植物繁茂、獣の出没）
	3.議員、議会に求めること	42	・早急な市民センターの建替
		43	・旧4号国道の車の騒音と振動、町浦地区の生活道の整備
		44	・国・県道の歩道、JR線路脇の除草
		45	・空き家が多くなってきており、環境悪化の要因になっている
		46	・安全で、収容スペースが大きい避難場所の整備（特に水害に対応できない）
		47	・町浦中央公園の駐車場が狭く、ごみが散乱している時もある
		48	・独身者が多い
		49	・道路（前沢田線等）が傷んでおり、適時補修が必要
		50	・歩道や横断歩道の整備
		51	・避難通路の確保（狭い、急勾配、草繁茂等）
		52	・雇用の場の確保
53		・議員の現場視察（被災箇所等）	
54		・市民ニーズに対する予算化	
真柴	1.協働体の成果と課題	55	・活動が活発になった
		56	・鬼死骸のPR,高齢者対応事業（移動スーパーとグランドゴルフの開催日時を同じくした。休耕地利活用）
		57	・PTA連合会の結成（若い人達の参加が増加）
		58	・年代、住んでいる地域で課題が異なり、対応が難しい
		59	・学校と地域をつなぐ仕組みづくりが必要
		60	・協働体自体が理解しにくい、分からない
	2.協働体だけでは解決が難しいと考える課題	61	・市民センター職員が少ない
		62	・市民センターの敷地が狭い（駐車場、物置が足りない）
		63	・市民センターの予算を増やして欲しい
		64	・協働体の研修時に成功事例発表だけではなく、失敗談も参考になるので、こうした例の発表も良いのではないか
		65	・鳥獣被害（イノシシ）が増加している。捕獲報奨金を引き上げて欲しい
		66	・地域防災の強化の必要性
		67	・道路が狭い（希望ヶ丘団地内）
		68	・豊吉之墓、県の指定文化財だが、地域で草刈り等管理している。今後、重要な財産であるので、適切な保護、管理が必要と思われる
		69	・上下水道の整備（要望書を出しているが区域外ということで整備がされない）
		70	・公共スポーツ施設等の利用料を一般も引き下げて利用しやすくしてもらいたい（学生の利用が無料であり、優先されてしまう）
	3.議員、議会に求めること	71	・様々な地域の行事に参加し市民の声を聴いて欲しい
		72	・市民から愛されるコミュニケーションのとれる議員を望む

# 令和4年度 市民と議員の懇談会 意見等一覧

会場	意見区分	通しNo.	意見内容		
		73	・地域に議員が欲しい		
真柴	3.議員、議会に求めること	74	・議会だよりを具体的に分かりやすく、見やすく		
		75	・議員が協働体の話を聞いて、勉強して欲しい		
		76	・子供たちの意見を聞く機会、話す機会を作って欲しい		
		77	・N E C跡地に市役所を。遊ばせておくのは勿体ない		
		78	・企業誘致を真剣に取り組んで欲しい（人口減につながっている、企業誘致はインター近くが良い）		
		79	・リニアコライダーは今、どうなっているのか市民に伝えて欲しい		
		舞川	1.協働体の成果と課題	80	・先ず、地域協働体とは”課題協”のことかという云う確認から始まった。舞川では、昭和54年に発足した舞川地域課題協議会という組織が既にあり、施設の指定管理を受けている。（受けて4～5年）
81	・舞川では、区長が全て自治会長の役目を担っている。				
82	・課題協が指定管理を受けたことにより、気軽に施設を使えるようになった。（ケーキ屋さん等）				
83	・指定管理を受けて、市民センター事業が自由に実施できるようになった。				
84	（地区民運動会、各地区での参加者が少なくなっていたため、舞川全部で実施でき良かった。）				
85	・市民センターという拠点があるので、人が集まれる。				
86	・年代世代を超えて結成されているので、幅広い声を聴くことが出来る。				
87	（若い人も巻き込んでいる。）				
88	・『わくわく公園プロジェクト』子供たちの遊び場所、遊具の貸し出し。				
89	・市が協働体を認めるようになって、運営に対して予算(協働体補助金)や支援を受けられるようになった。				
90	・予算もだが、専従を置くことにより、組織がしっかりとした。				
91	・昔から課題協は活発に活動してきたが、新体制になってもコミュニケーションを含め活発である。（勉強会等）				
92	・課題協は、17団体で構成されており、組織の代表者が集まり、様々なご意見を頂ける。				
93	・地域課題に、組織として取り組みやすくなった。				
94	・大きな組織は、大きな予算で取り組めるのではないか。				
95	・金山棚田を通して、若者との交流はとても良い。				
96	・地域づくり計画を作って発足したが、あまりにも束縛されているように感じる。				
97	・事業はできる範囲で実施しているが、もう少し柔軟にできると良い。				
98	・年間を通して、与えられた予算を使い「何をして行くか」が一番の悩み。（コロナ禍の中特に）				
99	・協働体に対して、何を期待しているのか。運営に関するマニュアルが欲しい。				
100	・市の下請けの様なイメージがある。地域活動としてどこからどこまでが範囲か。				
101	・市と協働体の住み分けが分からない。				
102	・コロナ禍で行事ができない。				
103	・事業の継続が大変。（高齢化で口だけ達者になっている。）				
104	・『若者イノベーション会議』（きっかけ作りの組織）があったが、関わる人達が特定され、同じ人ばかりでやっているうち疲れて出て来なくなった。				
105	・消防団の成り手が居ない。				
106	・若い人達の参加が少ない。（そもそも、若い人達が少ない。）				
107	・個人的余暇とか、友達とか、価値観が違う。PTA関係の人達が、一番若い位。				
108	・世代間交流を進めているが、世代の隔差があり、なかなか交流は進まない。				
109	・しめ縄作りとか、力が必要な場面で出て来てもらっている。出て来る人の固定化。				
110	・これからの舞川のあるべき姿を、共通認識する必要がある。				
111	・今日の様な、様々な年代の方々と話し合える場があると良い。				
舞川	2.協働体だけでは解決が難しいと考える課題			112	・人口減少（区長の成り手が無い。）深刻（課題が多方面にわたる。）
				113	・後継者不在（草刈り等、全てのことについて）これは、一番の課題。集落を見ると、人口が3分の1になっている。
				114	・地域リーダーの育成が必要。
				115	・鳥獣被害（春先に多い）クマ、カモシカ、ニホンジカ、増えるばかり
				116	・地元企業が少ない。若者が働ける職場が欲しい。
				117	・高専の学生の活躍の場を作ってもらいたい。
				118	・水素、蓄電池などを作る工場が欲しい。
				119	・オンラインで仕事ができる職場が欲しい。（リモートワーク）
				120	・求める人材と、仕事がマッチングしていない。
				121	・他県に働きに行き、そこが生活基盤となってしまう。
				122	・他地域(金ヶ崎、北上等)で働いている人が多く、住所もそこに移し土日だけ帰って来る。
				123	・若者が居ないと発展しない。
				124	・大学等、高等教育の場が欲しい。
				125	・仲人（お世話役）が居ない。世話する団体や取り組みもあるが、知人とかが居ると思うと行きにくい。
				126	・イベントとかではなく、マッチングアプリとかの方が利用しやすい。金成、栗駒とか、他県であれば行ってみてもよい。
				127	・住みづらい。（家の管理、草刈り、土地や農地の管理。）
		128	・若者が、地元行事に参加出来るようにして欲しい。		
		129	・雇用の多様化により、一斉作業がしにくい。		
		130	・農繁期等の無料帰省列車。		
		131	・卒業したばかりの若者が、旅費が掛かりすぎて戻って来られない(土産代込み5万円位)。		
		132	・高齢者のサロン活動、温泉送迎バスがないので、送迎バスが欲しい。		
		133	・国・県道の草刈り等には補助があるが、市道にはない。		
		134	・市道を覆う立木の除去を！！（スクールバス路線の支障木除去を地元で行った。）		
		135	・市営バスのルートを見直して欲しい。（一関大東線にもバスを通して欲しい。）		
舞川	3.議員、議会に求めること	136	・人口減少対策の組織を作ってほしい。人口減少対策←現状で見えてこない。		
		137	・少子化対策よりも人口を増やすべき。人口が増えているところを研究してほしい。		
		138	・田舎でも、安心して暮らせる市政を目指してもらいたい。		
		139	・N E C跡地活用について注目をしている。（夢もあるが、心配もある。）		
		140	・N E C跡地計画で、緑地公園等の計画もあるが、後々管理でお金が掛かるので、よく考えてやって欲しい。		
		141	・予算（例えばコロナ対策の）の財源が、どこから来ているのか知らせてもらいたい。		
		142	・束稲山麓農業遺産はどうなっているか？		

# 令和4年度 市民と議員の懇談会 意見等一覧

会場	意見区分	通しNo.	意見内容
		143	・課題は沢山あるが、今日の様な意見を言える場が年に一回以上あり、それを継続して話し合っていければ、変わって来ると思う。
		144	・このような話し合いの場は、若い世代にとって有意義である。
		145	・市役所の窓口で複数の窓口で用が或る時、その人を複数の窓口を回らせるのではなく、総合窓口で担当者が来るようにしてもらいた
舞川	3.議員、議会に求めること	146	・工場（企業）誘致。
		147	・議員は、もっと地域に入れ。（自治会単位に）
		148	・花泉の歴史を探る「お宝マップ」作成中で、興味深い内容となった、タイムスリップした感じ
花泉	1.協働体の成果と課題	149	・地域づくりの拠点としての協働体、5年経過しているが、各専門部が連携して取り組んで良い方向に進んでいる
		150	・子供から老人まで、お餅文化ふれあい事業を展開している
		151	・昔の思い出とギャップがあるが、事業を通して交流が来ている
		152	・予算の面で様々な配慮が来ている
		153	・駅前活性化のため、駅前商店街でリーフレット作成した
		154	・秋まつりでの高齢者バス送迎の実施
		155	・「花泉マップ」を小中高校に配布して花泉の認知度を上げている
		156	・地域伝統の「鳥舞い」学校ごとに教える人が違った、学校統合により統一化になっている。
		157	・「モリウシ元氣祭り」特に子供たちの集客、バス運行
		158	・地域に何があるか知らないことがある
		159	・他地域の事例を参考にしたい
		160	・花泉第1避難所で雨漏りがある
		161	・小学校跡地の利活用について
		162	・防災マストが聞こえない
		163	・協働体の体制が変わらない
		164	・新しい年代の人が入ってこない、特に若い人が少ない
		165	・夜、土日休日に事業を組んでも若い人がなかなか来てくれない
	166	・一度イベントが中止になるとまた立ち上げるのが大変	
	167	・地域の伝統は残すべきだ	
	2.協働体では解決が難しいと考える課題	168	・大きな課題については手を挙げないで、専門部の機能を活かし調整する
		169	・市に要望できる部署が必要
		170	・大胆な取り組みをして若者を残すことをすべき
		171	・若者のコミュニケーションを生かした協働を進めるべき
		172	・大きな括りで組織の在り方を考える（例えば、花泉は1つだとか）
		173	・地域に核となる人材が必要だ
		174	・アピール不足からマスコミ、SNSの活用が必要
		175	・コロナの長期化が影響しているが、若者を取り込むことが必要
		176	・避難所、集会所の管理
		177	・町の街路灯の維持管理
		178	・飲食の場が少なくなっている。懇親会となると若い人が出てこない
		179	・計画してもなかなかコロナで、コミュニケーションができない
		180	・トップだけが集まるような形ではなく、皆で集まれるようにしたい
	3.議員、議会に求めること	181	・「市民と議員の懇談会」は初めてだが、少子高齢化の中、必要と思うので年1回は開催してほしい。
		182	・新生花泉小学校建築に伴う通学路の検討
		183	・小中校の通学路の整備
184		・「花と泉の公園」は、花泉にとって重要な観光施設である、存続を望む	
185		・要望への対応について（小さい要望も含め）、いつ頃実施なのか教えてほしい	
186		・市からの情報発信を積極的にしてほしい	
187		・文化財の維持費	
188		・地域に顔を出すこと	
189		・金流川左岸堤防の舗装化	
190		・花火打ち上げ場（四日市場）の舗装化	
191		・おやま沢の高田線に降雨時砂利の流出がある	
192		・小学校旧校舎利活用の際、維持するための市の協力	
193		・もっと若い人集まるような機会を設けてほしい	
194		・懇談会の申し込みをしたが、市長に断られた	
195		・市のまちづくりの全体像を示してほしい	
196		・スクールバスの駐車場所を再検討してほしい（市民センター、図書館等）	
197		・新生小学校の付近の交差点に信号機がない	
198		・新生小学校の送迎車両の乗り入れの場所について、保護者の意見を聞いてほしい	
日形	1.協働体の成果と課題	199	・協働体の行事を通じて一体感が生まれた
		200	・そばを栽培して、祭りで振る舞う
		201	・環境整備事業（草刈りなど）
		202	・役員の成り手がなく、一人が何役も担っている
		203	・若者、女性が参加しやすい仕組みづくりが必要
	2.協働体では解決が難しいと考える課題	204	・雇用の場の確保
		205	・旧) 小学校の利活用（活用したいが維持費が高い）
		206	・地域公共交通の見直し（高齢者の足の確保）
		207	・鳥獣被害対策
208		・スクールバス利用基準の弾力的運用	
209		・防災マップの見直し（避難場所の見直し、避難経路の明確化）	
210		・道路の改良、舗装、除雪対策	
211		・空き家対策	
212		・行政の縦割りの仕組みを総括的な対応に	
213		・防災無線が聞き取れない	
		214	・懇談会を定期的に開催してほしい
		215	・行政の収入増（税収等）を考えて欲しい

# 令和4年度 市民と議員の懇談会 意見等一覧

会場	意見区分	通しNo.	意見内容	
	3.議員、議会に求めること	216	・NEC跡地利活用は何処でもやっていない様なこととして欲しい	
		217	・内水が発生しない対応を望む（排水パイプの整備等）	
		218	・土砂崩れ対策を考えて欲しい	
	大原	1.協働体の成果と課題	219	・地域意識を持てるようになった。
			220	・地域行事に参加、関わる機会が増えた。
			221	・部門毎に計画的な取り組みができるようになった。
			222	・さまざまな行事を継続的に実施している。
			223	・地域独自の「ほまわり油」「カレンダー」「カルタ」等を作成した。
		2.協働体では解決が難しいと考える課題	224	・限られた予算だけでは取り組みに限定がある
225			・予算の使い道が限られている。	
226			・地域作品を売ることができない。	
227			・役員の担い手がない。	
228			・若い世代、女性の関わりが少ない。	
229			・職員の報酬が低く、若者を雇用できない。	
3.議員、議会に求めること		230	・協働体の活動がまだまだ知られていない。	
		231	・一生懸命に活動してほしい。	
		232	・若い人の雇用場を確保して頂きたい。	
		233	・議員の担い手を考えてほしい。	
	234	・一関の魅力、東の観光を考えてほしい。		
	235	・空き校舎の利活用問題を考えてほしい。		
	236	・中心部だけでなく、もっと周辺部を見てほしい。		
興田	1.協働体の成果と課題	237	・地域共同体が出来てから、住民の参加者が増え、活発化した。（5つの部会があり、良い企画により、地域住民の参加につながっている。）（地域課題に対して、月1回の頻度で交流している。）	
		238	・市民センターが、今後興田地区のハード(建物)が余ってくる中、中心活動拠点となっている。	
		239	・興田地区全体を捉えた目線になった。	
		240	・高齢化、少子化に危機感を持ってきている。（空き家問題が地域の課題になってきている。（約150世帯））	
		241	・一過性の対応ではなく、継続的な取り組みができるようになった。	
		242	・若い方々で、地域を盛り上げる機運が出てきている。	
		243	・民生委員が、行政と連携を取り合って、よく活動している。	
		244	・福祉活動、芸術活動、サロン等活動が盛んである。	
		245	・里山整備（沖田地区）（チェンソーの安全講習会も開催され、今後、女性を対象に開催される。）	
		246	・人口減少による担い手の減少。	
		247	・来る人、発言する人の固定化。	
		248	・新しい考え方、新しい人が入ってこられる仕組みが必要。	
		249	・若い人の意見と交流がない。	
		250	・リーダーシップをとる専門性の高い人材が必要。	
		251	・他施設との職員間の交流が必要。	
		252	・専門部会同士の横の連携が必要。	
		253	・確かな成果を感じられない。	
		254	・協働ということが良く見えてこない。（話し合いが少ないと感じている。もっと話し合う時間に掛けなければならない。）	
		255	・協働体は指定管理2年目。行政とのタイアップ（連携）が少なかった。行政はお金だけ。	
	256	・こちらが行政に対して、アドバイスを求めたり、聞くこともなかった。		
	257	・市の管理計画が、地域の課題解決の地域協働体と対等な関係になっていない。		
	258	・地域と行政の連携が足りない。		
	259	・地域振興課に相談しにくい。敷居が高いと感じる。		
	2.協働体では解決が難しいと考える課題	260	・これまでの地域づくり計画を見直し、共同体で解決が難しいと感じる課題は削った。	
		261	・大型商業施設により雇用が守られていると思うが、地域に商店がなくなり 住民は困っている。高齢者の買い物難民。（時々地域巡回車(とくし丸、生協等)が来るが、最近あまり見かけない。）	
		262	・公共交通（お年寄りの足の確保）（買い物、病院、銀行）（お金の引き出し等、人が少なくなった農村部の個別訪問を、農協の職員が回ると言っていたが出来ていない。ATMの残存は大丈夫と言ってもらった。）（市営バスも、停留所まで行くのが大変。）（まだ切羽詰まっていないが、今から何かの形で工夫していく必要がある。）	
		263	・デマンドタクシーも、運送会社に利益がないと難しい。（奥州市が先進的取り組みをしているので、参考にしたい。）	
		264	・有害鳥獣（クマ、イノシシ、ニホンシカ、ハクビシン等野生動物の増加）→農作物の被害が多い。	
		265	・市民センター築50年。早期改修してほしい。	
266		・郷土芸能の伝承。（指導者が亡くなってしまうので、保存、復活していかれるか心配。）（地域の先生方がいなくなった。学校にはそれを求められない。）（月に1回でも集まると、子ども達にも良い。）		
267		・学校統廃合等により、管理しなければならない施設が多くなってきている。（施設の有効活用）		
268		・興田でもドッグランの話が上がったことがある。花と泉の公園のドッグランの利用状況が知りたい。		
3.議員、議会に求めること	269	・一関市議会の情報公開、提供が良くなされているが、もっと議員からの議会報告があってもよい。（特に地域課題に対する報告が欲しい。地元議員に奮闘してもらいたい。）		
	270	・一般質問が重複している。		
	271	・水田交付金に対して、いずれ水田を守れるような施策が必要である。（現在、100%自給率を確保できていない。40%を目標にして、これ以上水田、農地を減らさないようにしなければならない。）（水田、農地が荒れると、鳥獣楽園になってしまう。）		
	272	・「岩盤が強く地震災害被害が少ない」という特徴を生かして、ILCにここが適地ということをもっとPRした方がよい。		
	273	・ここに住みたい若者がいる。もっと支援をしてもらいたい。		
	274	・マイナポイントが付与されるマイナカードに関して、大東支所に取りに来いとのことだが、自分も家族も違う地域で働いている。どこの支所でも受け取られると良い。		
	275	・冬季に道路が通行止めになるような実態は、看過できない。今どき信じられない状況である。		
	276	・北上市等に通勤するための道路整備が必要。		

# 令和4年度 市民と議員の懇談会 意見等一覧

会場	意見区分	通しNo.	意見内容
		277	・大塚橋(市道)が狭く、車で渡りづらい。大型車両が通れるようにして欲しい。
		278	・落合橋しか大型車両が通れない。
		279	・新篠野トンネルに関して、トンネルより平面道路の方がその道路周辺が潤い、テレワーク環境も良い。
		280	・国道や市道の管理が行き届いていない。(国道道歩道、林道、農道の草刈り等)
興田	3.議員、議会に求めること	281	・道路維持管理は、地域の高齢化、人口減少により、年々地域ボランティアに頼るのは限界
		282	・自動車の運転に支障。野生動物の出没。ゴミの不法投棄
		283	・多面的機能支払交付金の協働活動も活用可能。←山中林道は不可。
		284	・市役所職員は気付いたら、行動する気持ちを持つべき。
		285	・生活道路等の状況について地域を見回って欲しい。
		286	・市議会は、国会の様な与野党の構図になっていないか。
		287	・NEC跡地関連で、東西自由通路の整備を望む。
		288	・砂鉄川支流興田川に蛍がいなくなった。(除草剤ネオニコチロイド、ラウンドアップ)
		289	・議会モニターの会議がなかった。(言いたいことが言えない。)
浜民	1.協働体の成果と課題	290	・振興会として自立する気概は有る
		291	・コロナ前に集まっていた活動も活発化されてきた
		292	・若者も情報発信をしている
		293	・一部若者も集まって活動している
		294	・文化芸能の伝承を行っている
		295	・秋祭り、地区のコミュニティーを振興会が担っている
		296	・教育、福祉安全、産業振興3部会で活動している
		297	・小学校が無くなった
		298	・情報が集まるきっかけが無くなった
		299	・コロナで活動が制限された
		300	・広報だけでは活動が見えにくい
		301	・各地区では集まっているが、全体の活動になっていない
		302	・コロナのせいで活動をしない、夢を持つことが良い物になるのでは
		303	・空き家が多くなっている
		304	・地元の行事に参加はするが、動けない人(高齢者)が増えた
		305	・高齢化、人口減少が大きな課題
		306	・事業は70歳過ぎの人で運営しているのが実態
		307	・振興会としての維持が難しい 5つの自治会組織が1つの振興会として活動するしかない(自治会も浜民地区で1つになるのでは)
	308	・小学校がなくなり、将来保育園もなくなると地区として共通的なものがなくなり、地区としてやる事が無くなる	
	2.協働体では解決が難しいと考える課題	309	・各分野の取り組みを、リンクさせるのがむずかしい
		310	・空き家問題、草刈りができない、セットで考えるべき
		311	・コロナ禍での芸能継承活動が難しい
		312	・少子高齢化による人材不足
		313	・地元で働く所がない
		314	・農業だけでは生活できない
		315	・自治会の中の班も継続することが難しい
		316	・地域活動に参加する年齢が遅くなっている
		317	・コミュニケーションをとる場、飲み会の場が減った、若い人も参加しやすい雰囲気づくりとなる補助金の有効活用ができないものか
		318	・後継者の育成が必要
		319	・若い人の役員の成り手不足
		320	・浜民地区センターがいつなくなるか心配、摺沢に、大原に、いつかは一緒になるのか
		321	・定年制が延びることにより、振興会の役員事務局に成り手がいない
		322	・同じく年金受給年齢も延び、稼げるまでは稼ぐこととなり地域に担い手がいない
		323	・地元のお店がなくなる、若い人達はネットで購入する
	3.議員、議会に求めること	324	・住民目線で公約に対し誠実に実行してほしい
		325	・森林の活用を本気で行ってほしい
		326	・獣対策をしてほしい
		327	・地元で働く場がほしい(北上、金ヶ崎のような)
328		・市道の維持管理をしてほしい	
329		・浜民出身の議員がいない、気軽に話ができる関係がほしい	
330		・懇談会の開催いいこと	
331		・議会で何が決まっているのか知りたい、議会報、ホームページに掲載されている	
332		・議会だより読むことが少ない、文字が多い、難しい	
333		・議員と話しができる場を設けてほしい	
334		・都会の人を地方(市街地にだけでなく)に引っ張ってくる工夫をしてほしい	
335		・免許返納をする人がいない、そもそもバスに乗る人がいない	
336		・公共交通(バス等)の利用も自家用車の便利さを知ると利用できない	
337		・大東町に総合商業施設ショッピングセンターがほしい	
338		・一ノ関駅の東西自由通路なんとかならないか	
339	・市街地に無料の駐車場がほしい		
340	・人口減少で山の手入れ、管理ができていない		
341	・赤線の補修が合併後されていない		
342	・水田には国の補助があるが、畑にはない、畑が荒れると野山の管理ができない		
343	・議員には地域を見ていただいているが、議員に対し現実味がなくなっている、広域的な立場で地域からすれば公平にやってもらえ		
344	・ILCについて、いくらかでも望みはあるか		
345	・一関市は広域合併をした、中心だけでなく末端まで見てほしい		

# 令和4年度 市民と議員の懇談会 意見等一覧

会場	意見区分	通しNo.	意見内容	
曾慶	地域協働体の成果と課題	346	・災害に強い河川改修を望む	
		347	・地域の連帯感が醸成された	
		348	・自分たちの地域は自分たちで守る意識	
		349	・高齢者支援チームで草刈り、雪かきを行っている	
		350	・特産品(そば)づくり、花いっぱいが定着し、お祭りなど盛り上げている	
曾慶	2.協働体では解決が難しいと考える課題	351	・役員の高齢化が課題である	
		352	・道路改良、整備(地主の同意が得られない)	
		353	・人口減少、後継者不足(結婚対策)	
		354	・農林業の維持、管理	
		355	・一部行政区の名称変更(洪民→曾慶)	
曾慶	議員、議会に求めること	356	・(旧)保育所敷地、体育館の利活用の促進	
		357	・市役所OB議員は市に遠慮しないで欲しい	
		358	・人口減対策に取り組んで欲しい	
千厩	1.協働体の成果と課題	359	・地域の議員が必要と思う	
		360	・若者の関わりが少ない。	
		361	・役員の担い手がない。	
		362	・協働体がすべき課題が絞りきれしていない	
		363	・行政と地域の役割がしっかりできていない	
	千厩	2.協働体では解決が難しいと考える課題	364	・若い世代が集まる場、イベントを企画できた
			365	・高校生に行事の運営をサポート頂いた
			366	・限られた予算だけでは取り組みが限定的
			367	・行政から地域に丸投げになっている
			368	・交流するにも特に高齢者の移動確保が困難
	千厩	3.議員、議会に求めること	369	・地区のリーダーがいない、育たない
			370	・全体の参加者が少ない
			371	・職員の給与が安く、昇給も少ない
			372	・議員には、住民の声を聞く、吸い上げてほしい
			373	・地域の課題を行政へ伝えてほしい
磐清水	1.協働体の成果と課題	374	・地域の実情を見に来て情報交換をしたい	
		375	・地域に若い人が戻って来れるような取り組みが必要である	
		376	・少子高齢化対策や雇用の場の確保が必要である	
		377	・高校生、若い世代との意見交換の開催を望む	
		378	・地域協働推進員をおいた	
		379	・市民センターと自治会の広報をセットにしたことで市民から注目された	
		380	・講師を呼び身近な問題を勉強できた(相続、介護、空き家問題)	
		381	・体育協会で小学校の校庭をきれいにできた、月3回(10日に一度)グランドゴルフ等で使用	
		382	・コロナ禍でも、婦人部で地区民祭の展示品の作成ができた	
		383	・コロナ禍で3年間事業が出来ていないが、地域の年間事業は計画した。	
		384	・指定管理となった、自由な発想を持って、主体的に活動ができる	
		385	・バス行事がコロナでできない	
		386	・今年から指定管理となったが、コロナで思った事業ができない	
		387	・人件費等が足りているかわからない	
		388	・人材不足で、若い人を雇用できる状態でない、財源的にもない	
		389	・コロナの影響で自由にできない、なんでも簡略化されている	
		390	・磐清水小学校の解体を早急に、体育館は学校の備品が集まっており、倉庫となっている	
		391	・寺沢自治会として公園の草刈り実施	
	392	・コロナが落ち着いた時に行事等を戻せるか不安、戻せるエネルギーがない		
	393	・生活できる人件費が払えない		
	394	・コロナ禍で夏祭り等行事をやらないことに慣れてしまった		
	395	・地域でまとまった事業ができない		
	396	・成果が上がらないことが課題だ		
	397	・懇親会(コミュニケーションの場)ができない、飲み会があって楽しみに人が集まり賑わう		
	398	・何かやろうとしても特定の方しか出てこない		
	399	・青年部が無いので、組織としてほしい		
	400	・今の主役は60代、70代、10年後が心配だ		
	磐清水	2.協働体では解決が難しいと考える課題	401	・空き家が増えている
			402	・一人暮らし、高齢者、予備軍も多い
			403	・ソニーが撤退した、誘致企業がほしいが
			404	・NEC跡地は、どうなるか
			405	・日ごろから市との話し合いが必要だ
			406	・市は市民センターに丸投げして施設を管理しているだけだ
			407	・地元出身の職員がいない、市職員の力不足
			408	・除草はドローン、若い人が少ないので、体力を使わない方法はないか
	磐清水	3.議員、議会に求めること	409	・藤沢のようなケーブルテレビがほしい
			410	・公民館から指定管理となってネットワーク(ラン回線)が外された
			411	・最終処分場の計画について、どのような状況になっているか
412			・春の区長会で毎年話しているが、側溝の土砂上げについて、市は国に対してどうしているかネットでも情報はあがるが、セシウムが外に飛び出す心配はないとのこと、環境省に対して交渉すべき	
413			・カモシカ被害対策	
414			・請願に対する賛成の過程がわからない、賛成、反対の主なものをあげてほしい	
415			・清田テニスコートのトイレ改修をしてほしい	
416			・千厩体育館の雨漏り修繕してほしい	

## 令和4年度 市民と議員の懇談会 意見等一覧

会場	意見区分	通しNo.	意見内容
		417	・学校建設で他の予算が削られる
		418	・70から80歳の人たちだけで、人材不足から展示作業を市に要望したが無理とのこと、なんとかならないか
		419	・合併後は、予算も含め自由にならない